

まえがき

『ICU 日本語教育研究』第 10 号をお届けします。本学の日本語教育課程 (Japanese Language Programs ; JLP) は、2013 年秋よりカリキュラム改革を実施しました。JLP の歴史、カリキュラムの変遷の詳細は 2003 年の本誌でご覧いただけますので、この号では 2013 年秋のカリキュラム改革に焦点を当てた報告を掲載いたしました。

ICU の日本語教育は、1953 年開学と同時に留学生 10 名の日本語クラスから始まり、60 年の歴史を刻んできました。さらに 1964 年に日本語を母語・継承語として学ぶ Special Japanese Program が開講され、今年で開講 50 年目を迎えます。これを記念し、ICU 創学 60 周年記念事業の一環として“JLP Reunion”という同窓会を行う運びとなりました。JLP を履修した卒業生、現在履修中及び履修し終わった在校生の声を多く聞き、今後の JLP 発展の糧としたいと思っております。

2013 年度サマーコースは、15 か国／地域から 76 名の受講生を迎えての開催でした。年毎に厳しくなる 7 月 8 月の猛暑、そしてゲリラ豪雨や雷の中、日本語学習と文化プログラムに熱心に取り組んだ受講生たちに大いに勇気付けられました。実施には学内外の多くの方々のご支援をいただき、ここに深く感謝申し上げます。

日本もようやく元気がでてきたように感じられます。本学の日本語教育に携わる教員が日頃の成果を発表する場としての紀要ですが、少しでも多くの皆さまと知見を共有し、情報交換の機会となれば幸いです。4 月以降、本誌 (過去の号含む) は「ICU リポジトリ」(ICU Repository) から検索、ダウンロードが可能となります。どうぞご利用ください。

ICU リポジトリ : <https://icu.repo.nii.ac.jp>

今後とも皆さまのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2014 年 3 月 1 日

日本語教育研究センター長

田中 和美

目 次

まえがき	田中 和美	
論 文		
ある日本語授業についての経験日本語教師 A の語りとその背景にある意識 —マルチメソッドによる分析—	小澤 伊久美・嶽肩 志江・坪根 由香里	3
報 告		
日本語教育における「群読」の可能性	半田 淳子	27
上級コース「日本語 7」におけるディベートと作文教育	数野 恵理	37
JLP 改革		
—新カリキュラム 2013 年秋から実施—	田中 和美	43
夏期日本語教育報告		
総括	田中 和美	59
教務報告	小澤伊久美	62
文化プログラム報告	数野 恵理	65
事務報告	事 務 室	68
研究例会、教職員一覧（2013 年 4 月～2014 年 3 月）		73
研究例会		75
教職員一覧		75
『ICU 日本語教育研究』投稿規定		76
執筆者紹介		77

